

事業報告書

団体名：NPO 法人 ブレーグ隊

1. 事業名	地域のつながりによる安心・安全なまちづくりに向けた市民参加の機運づくりと啓発事業
2. 実施内容	<p>実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)</p> <p>1) 安全安心のまちづくりに向けて地域住民が取り組むことができる活動などをまとめたパンフレットを作成し、配布を行い地域住民の安全・安心のまちづくりへの意識啓発を行うために</p> <p>① パンフレットの作成 700部 適宜、説明会等勧誘時に配布及びコンビニ等に配置。 ② 説明会開催のチラシの作成 2400枚 適宜、逡送により配布及びコンビニ等に配置。 ③ 説明会の開催 平成27年11月28日(土)参加者15名 平成28年3月24日(木)参加者26名</p> <p>2) 経年劣化が目立つ「青色防犯灯」等を新調し、青色防犯パトロール活動の充実を図るとともに、上記1.の説明会を通じて活動に参加する(協力)意思を示した住民の方に、パトロール隊員として必要な知識及び技量を身に付けていただくために、亀岡警察署による実務者講習を受講してもらい、パトロール台数を増加させる。</p> <p>① 青色回転防犯灯(車載用) 30基 購入(配備及び備蓄) ② マグネットステッカー 60枚 購入(配備及び備蓄)</p>
3. 成果	<p>事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。</p> <p>1) 問い合わせも含めここ数年間で新規登録者が年間1人程度であったが、本年度は実質半年間の広報活動及び啓蒙啓発活動により、説明会(報告会・講習会)に多数参加して頂き、その中から10名の新規登録者を迎えることが出来た。</p> <p>2) 現行の隊員の装備で経年劣化していた回転等を新調することが出来た。また、新規登録者に回転灯及びマグネットシートを貸与することが出来た。</p>

4. 協働の効果	<p>※市民連携事業・行政連携事業のみご記入ください。</p> <p>事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。</p>
----------	--

5. 今後の展開	<p>事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。</p>
----------	---

上記の事業活動を通じ、地域住民一人ひとりが、自らが住む地域の安全・安心を自らの力で守ることへの意識の向上を図るとともに、各々ができる範囲で一步ずつ取り組むことの大切さに気付いてもらえることが出来たと思います。具体的には「青色回転灯を使用した防犯パトロール活動」新規参加者 10 名と「一人暮らし高齢世帯見守り活動」新規参加者 30 名を迎えることが出来ました。

- ・この活動は継続していくことが大事であり、本事業により作成したパンフレット等を今後も有効活用し、活動への理解や協力者を増やしていきたい。
- ・亀岡警察署生活安全課と情報交換及びパトロール活動に関する連携を深めることが出来ました。今後は単なるパトロール活動ではなく、防犯の域を超えて軽犯罪全般に係る予防的・抑止的效果を拡大させるためにも、登録者の数を増やし、市内各地域に点在する同活動を行っておられる団体との連携も強化しながら、「セーフコミュニティーのまち亀岡」の更なる推進のために、努力して参ります。また、資金面については、今後も寄付金を募りながら、自治会からの活動補助金などを活用していきたい。
- ・地区社協からの委託事業として活動していますが、今後は当団体が独自で京都府警より委嘱を受けて活動を行う予定にしております。

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。
 ※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

青パトとは？

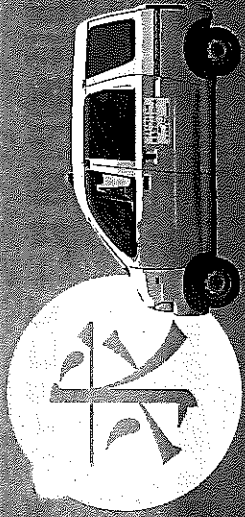
「青パト」という言葉を知っていますか？
正式名称は「青色回転等装備車（青色パトカー）」と呼び、警察署に申請し適切な自主防犯パトロールを行えると認められた団体やその車両のことを指します。青パト活動のそのほとんどが地域のボランティアによるものです。自主防犯パトロールは地域社会の犯罪や交通事故の抑止になるだけでなく、地域社会の輪を広げつなげる役割も担っています。

NPO法人ブルーイーグルス

ブルーイーグルスは亀岡地域の安心・安全な街づくりの実現を目指し、安全パトロール活動並びに防犯講習会等の事業を行うNPO法人です。

主な事業とその目的

- 「青色回転等を使用した防犯パトロール活動」
- 「一人暮らし高齢世帯見守り活動」
- 児童の登下校の見守り活動、地域の防犯を目的としたパトロール活動、交通安全・防犯講習などを通して安全・安心な街づくりへ貢献します。



ブルーイーグルスでは、パトロール活動参加者(ドライバー)を随時募集しています。興味、関心のある方は是非お気軽にご連絡下さい。

募集要項（全てに該当すること）

1. 週に1回以上パトロールできる方
2. 月に1回以上夜間パトロールができる方
4. 日常的に防犯活動についてご理解・関心のある方
3. 自家用車（車体に社名等が記載された車両は不可）を使用できる方
5. 亀岡地区内に居住されている方

詳しい活動内容や募集要項についてのお問い合わせ等は下記までご連絡下さい。

お問い合わせ・申請手続・連絡先

亀岡地区社会福祉協議会
特定非営利活動法人 ブルーイーグルス
亀岡地区自治会連合会 事務所内
電話番号 0771-22-5576

青パト

特定非営利活動法人

Kameoka
Blue
Eagles

代表 田中義雄

近年、児童達が誘拐事件や殺害事件など、凶悪犯罪に巻き込まれる事件が多発しています。子どもたちをあらゆる犯罪から守り、子供たちの大切な命を守るために、私たち「地域の大人たち」は何をすれば良いのか、何が出来るのかを考えて来ました。子どもたちが被害者となる凶悪犯罪を未然に防ぐために、地域社会で何が出来るか、地域の大人たちが犯罪の起きにくい環境をつくる取組みを早期に実施しなければなりませんと考えております。

一方、児童はもちろんお年寄りの皆さんが歩行中、自転車運転中に交通事故に遭わないようにするためにはどうしたら良いかを考え、道路に潜む危険「加齢に伴う身体機能の変化」交通ルールとマナー」について分かりやすく理解してもらえような講習会などを実施し、防犯のみならず交通事故の抑止活動も重要であると考えています。以上の状況から、関係機関はもとより家庭、学校、地域社会等住民が一体となった「防犯・事故防止運動」を推進するために、従来から続けてきた「青色防犯パトロール隊」の活動をさらに充実させ、公的な活動としてさらに認知・周知して頂くために特定非営利活動法人として認証を受け、新たに基盤組織を充実し地域住民の皆様と共に活動が出来るようにして参りたいと考えております。

セーフコミュニティとは？

セーフコミュニティ(Safe Community)とは、世界保健機関(WHO)SC協働センターが推進する「けがや事故などは偶発的に発生するものではなく、対策を施すことで未然に防ぐことが出来る」という理念に基づいて安心安全なまちづくりを目指す地域のことです。亀岡市は、全国市町村の中でも先駆けてセーフコミュニティ実現に向けた活動に地域社会が一体となって取り組んできました。その活動の中でもとりわけ特徴的なのは、地域住民が主体となり自ら積極的に取り組んでいることです。そのような亀岡市の取り組みはセーフコミュニティのモデル地域として府内のみならず全国にも広く認知されています。平成19年、亀岡地区福祉協議会の役員を中心に、地域住民のボランティアによってブルーイーグルスの前身となる「亀岡地区青色防犯パトロール隊」が結成されました。児童見守りや防犯活動に取り組む地域住民の活動の輪は広がり、現在市町村として府下第2位の規模を誇ります。平成23年、ブルーイーグルスはそれら長年の活動が認められ特定非営利法人(NPO法人)として設立しました。地域住民と築き上げてきた実績・信頼を基に、地域住民、事業団体、行政機関等と協働してセーフコミュニティ実現を目指し活動していきます。

亀岡市／セーフコミュニティ

<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/shise/shisaku/safe-community/index.html>

一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構

<http://www.jisc-ascc.jp/>